

認証評価結果に対する改善報告書

平成 30 年 7 月 18 日

1. 大学名：日本医科大学

2. 認証評価実施年度：平成 27 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

多額の借入金があるにもかかわらず、理事会の承認を経た法人の中長期財務計画が作成されていないため、早急な計画立案と計画に沿った財務運営を行い、安定した財務基盤の確立を目指すよう改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目 3-6 について

(1)中長期財務計画の策定について【資料 3-6-01】

平成 26(2014)年度と平成 27(2015)年度の 2 年連続で帰属収支差額が支出超過となったことを受け、外部のコンサルタント会社の協力を得て、「学校法人日本医科大学中期経営改善計画」を策定し、平成 28(2016)年 7 月 26 日開催の定例理事会において承認を受けました。また平成 29(2017)年 1 月に理事長の交代があったことから現在新中長期事業計画の策定を行っています。

(2)本法人の収支状況の改善と借入金残高の推移について【資料 3-06-02】、【資料 3-6-03】

上記の中期経営改善計画に基づき、法人一丸となり収入の拡大と経費の削減による収支改善に努めてきました。平成 28(2016)年度と平成 29(2017)年度の収支状況と借入金残高は下記の通りです。

①平成 28(2016)年度

医療収入は 748 億円と前年度に比べ 18 億円、2.4%の増加となりました。教育活動収入合計も 901 億円と前年度に比べ 21 億円、2.4%の増加となりました。一方教育活動支出合計は 893 億円と前年度に比べ 1 億円、0.1%の増加に留め、基本金組入前収支差額はプラス 5.5 億円と 3 年ぶりに収入超過となりました。年度末借入金残高は 629 億円と前年度に比べ 25 億円減少しました。

②平成 29(2017)年度

医療収入は 783 億円と前年度に比べ 35 億円、4.7%の増加となりました。教育活動収入合計も 944 億円と前年度に比べ 43 億円、4.8%の増加となりました。教育活動支出合計は 918 億円と前年度に比べ 24 億円の増加となりましたが、増加率を 2.7%に抑制したことから基本金組入前収支差額はプラス 16.5 億円と増収増益となりました。年度末借入金残高は 580 億円と前年度に比べ 49 億円減少しました。

(3)借入金残高の今後の減少見込みについて（【資料 3-6-04】）

本法人が 10 年以上かけて取り組んできた千駄木地区再開発計画は、昨年 7 月に新付属病院の第 2 期工事が完成し、本年 1 月に新病院のフルオープンを迎えたことで、

## 日本医科大学

一段落した状況となりました。新付属病院のスタートも順調に推移しており、今後も医療収入の増加が見込まれます。上記にありますように、この2年間で借入金は74億円減少させることができましたが、既存の借入金につきましては平成30(2018)年度以降も毎年40～50億円ずつ減少させていくことを目標としています。

また本法人では来年度より新武蔵小杉病院の建設・移転の計画を進めております。これは現病院の隣接地のグラウンドに新病院を建設し、移転を行った後、現病院を解体し更地にしたうえで現病院の敷地をディベロッパーに売却する予定となっています。新病院の建設および土地売却時まで一時的に新規借入金が発生しますが、建設費用より売却代金が多いことより土地売却時に100億円前後の借入金減少ができると見込んでいます。

毎年の借入金減少と新武蔵小杉病院の建設・土地売却により2024年度末の借入金残高は100億円前後にまで減少させることを目標としています。

以上

### 5. エビデンス（根拠資料）一覧

#### 基準項目3-6の資料

- 【資料3-6-01】平成28年7月26日付「第718回定例理事会議事録（写）」及び2016年6月28日付「学校法人日本医科大学中期経営改善計画」
- 【資料3-6-02】平成28年度財務計算書類
- 【資料3-6-03】平成29年度財務計算書類
- 【資料3-6-04】中長期借入残高推移見通し（法人全体）